

## 平成30年度 第2回理事会 議事録

日 時 平成30年8月12日(土)13時30分～14時20分  
場 所 北海道立総合体育センター 小研修室  
出席者 生島典明、島倉 昭、紺屋正雄、渋谷研一  
大江憲一、黒田謙二、田中昌幸、沓沢幸一  
浅野泰弘、碓井喜晴、春間好実、家近昭彦  
佐藤敏夫、川埜保幸、高橋克徳、志手典之  
柴田一徳、奈良孝伸、阿部 豊、佐見洋治(代理)  
高坂 猛

### 1. 開 会

理事会開会に先立ち、昨年度 JVA 表彰を受けた黒田謙二副理事長、大江憲一副理事長の表彰状の伝達を執り行った。

※総務委員長が、理事30名中20名の出席があり理事会は成立することを報告した。

### 2. 会長あいさつ

第2回理事会にお集まりいただきお礼。本日は倫理委員会報告に基づく処分の決定をお願いする。

来月の14日から全日本マスターズ札幌大会、29日から2018世界選手権女子大会とビックイベントが控えて、実行委員会の皆さんが中心となって準備を進めており、これらの大会を成功に向けて皆さんと共に取り組みたい。特に2018世界選手権女子大会は多くのバレーボールファンが会場に足を運んで頂けるか、理事の皆さんにはチケット販売のご協力をよろしく願います。

### 3. 議事録署名人に選出

※以降は、規約に基づき会長が議長を務める

議事録署名人に生島会長の外、北見協会奈良理事、碓井常任理事の2名を指名する。

### 4. 協議事項

#### (1) 倫理委員会報告に基づく処分決定について

##### HP掲載用文章

- ・7月24日付で生島会長宛に届いた倫理委員会山本委員長からの北海道バレーボール協会競技者及び役員倫理規定に基づく処分内容について(報告)の処分内容の報告がある。8月12日付で男子バレーボール前顧問に対して処分内容の決定についての通知を行い、7月11日にJVA会長嶋岡健治氏に体罰・暴力・セクハラにかかわる事案について報告した。

被処分者：石狩管内中学校男子バレーボール部前顧問(58歳)

処分内容：北海道バレーボール協会が主催又は共催する競技会及び事業への出場及び活動は、無期限停止とします。

- ・山本委員長よりいまだ根絶に至っていないことを強く受け止め、さらなる暴力・体罰、ハラメントなどを根絶させることを切望するという、北海道協会に対して強い要望があったということを報告し、処分決定とホームページ掲載文章について承認を頂きたい。

- ・中体連より中体連での処分方法について説明がある。

＜処分内容ホームページ掲載用文章は承認される＞

- ・嶋倉副会長からこのような事例が出たことについて発言がある。
- ・生島会長から山本委員長の北海道協会に対する要望を強く受け止め、各協会はその主旨を徹底するよう要請がある。

#### (2) JVA 表彰候補者の推薦について

- ・今年度の北海道協会としての候補者の推薦について、常任理事会で決定された内容を報告した。推薦者の大村暢彦氏（60歳）は、現在北海道バレーボール協会指導普及委員会指導部員で、北海道バレーボール協会の理事を10年、常任理事を10年、合計20年役員を務められ、表彰規程の推薦に合致する。

＜JVA 表彰候補者の推薦は確認される＞

#### (3) その他

- ・渋谷理事長より西日本豪雨災害被害県協会への義捐金について、北海道協会として各加盟団体のご協力を頂きながら、熊本地震の先例にならうご協力をお願いする。後日ご協力の文章を各加盟団体にお渡しする。被害の県が複数あるため日赤を通すか、被害の大きい広島県、岡山県に絞るかは今後検討していくが、このような主旨で義捐金を募集する。

＜承認される＞

- ・8月10日に全日本バレーボール小学生大会全国大会の男女混合の部で北北海道代表の遠別イーグルスが準優勝となり、北海道バレーボール協会表彰規定第2条第1項第6号の全国大会で優秀な成績を収めたケースと言うことで、道協会として表彰することを諮る。

＜承認される＞

### 5. 報告事項

#### (1) 2018世界選手権女子札幌大会について

- ・先行販売及び部員・スタッフの調達に対して各加盟団体や多くの方のご協力にお礼がある。7月7日から一般販売が始まっており、これからもPRご協力をお願いする。新しいポスターができたので活用してほしい。TBSはアジア大会後に本格的にPRを開始する。

#### (2) 新MRSについて

- ・役員の登録は旧システムとは違い、本部から役員に委嘱をした後、役員が登録作業を行う。委嘱の方法は役員のメールアドレスが必要となり、これまでのように複数名に同じメールアドレスで登録できなくなったため、メールアドレスを持たない役員に対して、役員協力金としてMRSと同じ金額を収めて頂くよう常任理事会で検討している。

#### (3) 日本協会関連

- ・6/28 全国ブロック理事長会、6/29 全国加盟団体代表員総会が開催され、嶋岡会長から2018年の予算が7億円の赤字予算になり、これは2020年東京オリンピックに向けて積極的な強化対策の予算を計上したとの説明がある。赤字の主な要因は世界バレー大会のFIVBからの大会協賛金2億2千万円が0円に、従来FIVBが半分以上を負担していた選手の宿泊費についてまだ回答が来っていない状況である。
- ・バレーボールの統一用語の説明がある。

- ・8/6 元 JVA 会長の立木正夫氏が心不全でご逝去された。
- ・元専務理事の豊田博氏が国際バレーボールの殿堂入りを果たした。日本からは 8 人目となる。

(4) 各委員会関連

①総務委員会

- ・公益財団法人日本スポーツ協会からセクシャルハラスメント防止対策等の周知について各加盟団体の事務局及び MRS 登録のチーム代表者に発信し徹底を図る。
- ・8/1 滝川協会理事長 松本和憲氏御逝去に伴い（弔電・供花）対応。

②強化委員会

- ・8/7, 8, 9JOC カップ全国都道府県対抗中学大会の選考合宿を行い、男女 12 名ずつ計 24 名を選手し今月中にメンバーが決定する。決定後は各地区協会会長宛てに通知する。

③審判委員会

- ・全国インターハイ女子決勝戦主審 旭川協会川崎尚子。  
大阪の B 級キャンプに釧路協会藤枝彰恵、根室協会小沢敦が受講。世界選手権大会の最終リハーサルを 8/18(土)札幌西高で実施する。VIS が DataVolley に変更となり中止となった。

6. 閉 会

【第 3 回理事会：平成 30 年 12 月 15 日（土）13:30～


】

議事録署名人

会 長

生島典明 

議事録署名人

碓井喜晴 

議事録署名人

奈良孝伸 